

子ども図書研究室だより

長田弘氏 講演会報告

4月23日(土) 静岡県立中央図書館において、詩人長田弘氏による講演会が「子どもの本の世界の言葉」をテーマに行われ、長田氏は次のようなことを語られました。

日本人は世界で一番テレビを視聴するという統計結果が出ているが、日本において「ワハハ、ギャハハ」という笑い=面白いという価値観が一般的になってから、interesting(興味深い)という意味での面白さが無いがしろにされていった。その結果、考える力は低下し、本を読むことが減ってきたといえ、それは知的な好奇心が無くなってきたともいえるのではないか。

人間はたくさんの技術革新を進めてきた。新しいものが出ることで古いものは捨てられてきた。カセット、ビデオ、レーザーディスク…。古いものが大切にされてきた世の中では、色々なものが大切に使われてきた。けれども現在は使い捨てる時代である。そんな中「本という考え方」も急速に世の中から失われていった。2500年とも3000年ともいわれる本の歴史を納めておく新技術はまだ生み出されていない。それなのに「本という考え方」は急速になくなっていく。

けれども、子どもは本来、哲学「なぜ? どうして?」が好きである。知的な好奇心の塊である。本から遠いところに位置しているわけではない。

本を読むことは、「よく見ること」「深く感じること」「じっくり考えること」である。子どもの本の本質は「なぜ? どうして? どういうこと?」にある面白さであり、子どもの本とは、子ども時代に読む本という意味ではなく、そこに知的な好奇心をくすぐる不思議がいっぱいある本のことである。子どもたちは時に、何度も何度も同じ本を読むが、お話を通して物の見方・感じ方(=概念)を学んでいるのである。成長しているのである。「本」は不完全なものの後ろにあるものを伝える。それは、言葉だったり思いやりだったりするのであるが、物語を読み聞かせることで、子どもたちは「言葉のあり様」「本のあり様」も同時に受け取っているのであろう。そういったことに加え、子どもたちに本を手渡してほしいと思う。

子どもの本の世界では、いろいろなものが言葉をしゃべり、物語ります。命あるものから無いものまで…。しかし、子どもたちを引きつけるもの・大切なことは、いろいろなものがしゃべるという事実ではなく、それらが物語るお話の中にある「不思議」なのだということを熱く語られ、不思議を体験する心地よさが、子どもたちを何度も同じ本に引きつけ、読むことに通じるということが分かりました。そうした視点をもって、子どもたちに手渡す本を選んでいきたいと考えます。(中村都美)

2005.5.20 発行 NO.14

静岡県立中央図書館

<http://www.tosyokan.pref.shizuoka.jp/>

研究室所蔵資料紹介

『森の絵本』作/長田 弘・絵/荒井良二

表紙は新緑の森を思わせる。どこかでよぶ声が聞こえる。姿が見えない。だれなんだろう? 絵の中を探してしまう。「森が息しているのはゆたかな沈黙です。」森が生きているのはゆたかな時間です。詩人らしい長田氏のことばである。そのことばを聞くとレイチェル・カーソンの「センス・オブ・ワンダー」が浮かんでくる。自分にとって、だいじとは? たいせつとは? そして夢とは? と問いかけ、考えさせられる。

絵を描いた荒井良二氏は2005年3月に日本人初のリンドグレン賞を受賞した。受賞の理由は「大胆でいたずら心もあり、予測不能という独自のスタイルを持つイラストレーター。作品は子どもから大人まで楽しませる」のだそうだ。

内容を理解するには、中学生くらいから。絵は、幼児から楽しめる。

* リンドグレン賞とは、スウェーデン政府が、「長くつ下のピッピ」などで知られる児童文学作家リンドグレン(1907-2002)を記念して2002年に創設した賞です。

〈 絵本を展示しています 〉

長田弘氏が訳した絵本を、6月中旬まで研究室に展示しています。

『あいうえおだよ』『地球というすてきな星』『そらとぶいぬ』『世界をみにいこう』『はしれショウガパンうさぎ』『ハーメルンの笛ふき男』『みんなのすきな学校』『詩のすきなコウモリの話』
(栗山章子)

講演会情報

子ども図書研究室 1周年記念講演会

日時:平成17年6月27日(月) 13:30~15:00

テーマ:「今を生きる子どもと本」

講師:間崎(大月)ルリ子(翻訳家、鴨の子文庫主宰)

場所:静岡県立中央図書館 3F 視聴覚モデルルーム

入場料:無料(定員100名)

問合せ:静岡県立中央図書館 054 262 1243

*講演内容として、短いストーリーテリングが含まれる予定です。

神沢利子講演会

日時:平成17年6月16日(木) 10:00~12:00

テーマ:「書くことと生きること」

場所:アクトシティ浜松研修交流センター 2F 音楽工房ホール

入場料:800円(定員300名)

問合せ:浜松こども文庫のつどい 053 458 7585